

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさんこんにちは。毎日、じめじめして蒸し暑い日が続きますが、いかがお過ごしですか？

現場のある日には、一日に3回以上もシャツを着替える堀内貢次です。

この時期は、気温の高い日などは、脱水症状や熱中症にならないように、こまめに水分補給をして休息するように心がけたいですね。熱中症の発生は、梅雨の合間に突然気温が上昇した日や梅雨明けの蒸し暑い日など、身体が暑さに慣れていない時に起こりやすいということなので、この時期が正に注意が必要です。

「アジサイ寺」

6月と言えば、アジサイの季節です。先日、地元富士川のアジサイ寺こと小室山妙法寺に花観賞に行ってきました。

まだ、アジサイ祭りの始まる前で、人もまばらで、花も八分咲きでしたが、十分に満喫できました。全国にはアジサイ寺と名のつくお寺はたくさんあるようです



から、家にこもりがちなこの季節、積極的に出かけて楽しみましょう。

「マンション玄関土間に付くシミ」

今回の石材メンテナンスは、個人のお客様の中で特に依頼件数の多い、皮靴による茶色いシミ抜き施工です。

靴底が革製の場合にこのシミが出やすく、雨降りなどの日に、濡れたまま土間に放置しておく、次の日には、点々と茶色いシミが付いてしまうことが多いようです。

これも、天然石の特徴なので、仕方がないのですが、シミは、着色剤なので、一度ついてしまうと、なかなか抜けないので厄介です。

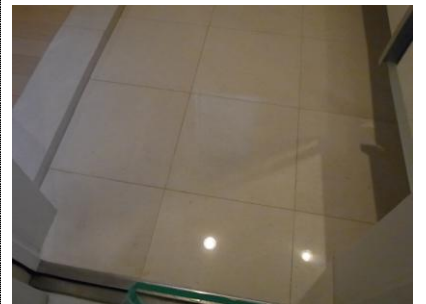
このようにならないようにするには、濡れた靴の下に何か敷いて、乾くまで石の上に置かないようにするのがベストです。

さて、シミ抜きですが、今回、シミ以外にも全体的に土間が汚れているので、まず、全体を弱アルカリ洗剤で洗っていきます。それから茶色いシミ部分に漂白系の洗剤を塗布し、

着色材の顔料に反応させていきます。洗剤を乾燥させないように何度も刷毛で塗布したり、ラップしたりするのが



コツです。シミ抜き後は、ダイヤモンド研磨を4工程ほど行い光沢を復元し、今後にシミが付きにくくなるように、石材用のフッ素樹脂系のトップコートで処理し完了しました。



お施主様には、新築時のように綺麗になったと喜んでもらえました。

赤紫御影石「カレドニア」のサビ抜き

御影石の外壁の庇のない雨のあたる部分に写真左のような茶色いサビシミが発生しているとのことで現調してきました。石の中に含まれる鉄分が酸化しているものと思われます。テスト施工を行い、サビはある程度薄くなることは確認できましたので、再発を防ぐために、石の吸水性を抑える浸透性のコート塗布を提案させて頂きました。



(編集後記) ここ5年くらい通っているヨガ教室で「初伝」の賞状を頂きました。休まずに通っていて、申請すれば誰でも取得できるのですが、今後も精進していこうと決意しました。慢性の腰痛が大分改善されたのは驚きです。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp